

International Year of Crystallography

IYCr2014

2014

international year of  
crystallography

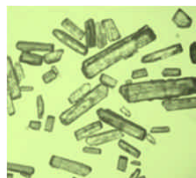
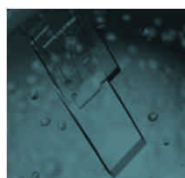
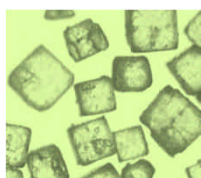
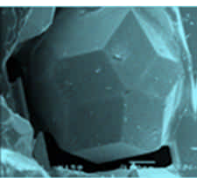
2014年は世界結晶年

1895年のレントゲンによるX線の発見を受けた  
1912年ラウエによる回折現象の発見、これに続くブラッグ父子の  
NaClの結晶構造解析から100年の節目を迎えました。

人類が初めて気づいた結晶は、水晶などの宝石でしょう。  
食塩、砂糖など身の回りの物質、  
半導体など我々の現代生活を支える材料物質、  
医薬品など我々の生活に欠かせない多くの物質が結晶からなります。

結晶の役割に気づき、結晶学を身近に感じ、  
結晶を用いた技術の更なる発展の年となればと考えています。

2014.1.23 オープニングシンポジウム 於 学術会議講堂  
2014.2.16 文化財を蘇らせる結晶学 於 MOA美術館  
2014.8.11 IYCr Microsymposium in IUCr2014 於 モントリオール  
2014.11.2 世界結晶年記念シンポジウム 於 東京大学



[www.iycr2014.jp](http://www.iycr2014.jp) / [www.iycr2014.org](http://www.iycr2014.org)